

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり0.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されておりあります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名まで2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		利用児童の特性に応じた視覚支援や発達に応じた環境設定に努め、定期的に見直しをおこなっております。また、構造的に段差は少なく、おむねバリアフリーになっております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		換気・掃除・机や教材の消毒を毎日おこない、児童が活動しやすい環境を整え、衛生的に心地よく過ごすことができるよう配慮しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		状況や内容に応じて活動スペースを分けることで、児童それぞれの活動ができる環境となるよう配慮しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	6		職員会議は、全員が参加するように努め、課題の把握・目標設定・改善案について話し合っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		アンケート実施後、保護者からいただいたご意見は速やかに全職員で共有し、業務改善に努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員が意見を述べる場を定期的に設け、業務改善に努めております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		社外研修については内容に応じた積極的に参加の機会を確保しており、事業所内では本社配属の動画による社内研修に全職員が参加し、資質向上に努めております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		公式Webサイトにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		アセスメントを適切におこない、児童の特性や状況、保護者様のご意向に基づいた支援計画を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		全職員が参加し、児童の最善の利益を目的とした検討をおこない、支援計画を作成しております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		全職員が常に支援計画の内容を確認し、計画に沿った支援に努めております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		標準化されたアセスメントツールを使用し、状況の把握に日々努めております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		放課後等デイサービスガイドラインにある「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえたものを設定して作成しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		全職員がチームとなって、活動プログラムの立案をおこなっております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		習慣化と定着を目指した基本的な活動とともに、児童の発達に応じた個別の活動を考案し、さまざまな状況に合わせて活動プログラムを工夫しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		児童の発達に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成し、支援をおこなっております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日の職員間での打ち合わせにて役割分担や環境設定をおこなっており、担当児童のみならず利用児童全員に対する情報共有と共通理解を求め、支援をおこなっております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援終了後には全員での打ち合わせが難しい場合もありますが、連絡ノートを活用し、その日の活動で気付いた点などの情報共有をおこない、支援の質の向上に努めております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の支援経過記録を徹底して検証し、改善につなげております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的なモニタリングによって児童の状況や課題などを確認し、保護者様のご意向を踏まえて、支援計画の作成と見直しをおこなっております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	6		保護者様のご意向や児童の特性、ご家庭の状況に応じて「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援をおこなっております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	6		児童が自ら選択できる活動プログラムを用意することで、自己決定力の働きかけをおこなっております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	6		担当者会議に参加している者は児童発達支援管理責任者であり、会議の内容は職員間で共有しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		関係医療機関や行政や学校などの各関係機関と連携を図り、支援に取り組む体制を整えております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		送迎時に担任の先生からのお話をうかがい児童の様子を伝え合うことで、常に情報共有をおこなっております。また、必要に応じて学校との話し合いの場（担当者会議）を設けております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		担当者会議を通じて支援内容などの情報共有と相互理解を図り、支援の方針が統一されるよう心がけております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		保護者様のご意向をうかがったうえで、各関係機関と連携を取り、情報共有を図っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		児童発達支援センターとの連携を図り、助言などを受けております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		今年度は交流の機会はありませんでした。	保護者様のご意向をうかがったうえで、近隣の関係機関など交流機会を検討してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		今年度は自立支援協議会等への参加の機会はありませんでした。	自立支援協議会へ積極的に参加し、情報の共有に努めてまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や連絡帳にて活動の様子などを伝え、児童の発達状況や課題について共通理解に努めております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		保護者様のご相談に関しては、その都度、助言・支援などの対応をおこなっております。また、自治体主催のペアレント・トレーニングの情報を必要なご家庭に提供しております。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時には必ず丁寧な説明をおこなうよう心がけ、それ以降もご要望がある場合にはその都度対応をおこなっております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けているか。	6		放課後等デイサービスガイドラインにおける最善の利益の優先考慮の観点から、児童や保護者様の意思を踏まえた支援計画を作成しております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		保護者様のご意向、児童の特性、ご家庭の状況を踏まえたうえでガイドラインに基づいた支援計画を作成し、保護者様へご説明の際にわかりやすい言葉をおこなって計画の同意を得ております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言や支援を行っているか。	6		連絡帳や送迎時に保護者様からいただくご相談に関しては、電話や面談での助言・支援などの対応をさせていただいております。	
	40	父母の会の活動を支援する機会や保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		今年度は開催しておりません。	保護者様のご意向をうかがったうえで、保護者様同士の交流の機会について検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情のご相談窓口を設け、契約時に説明するとともに、日々の利用に関するご意見やご相談については迅速に対応できるように配慮しております。	
	42	定期的に通信等発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		季節ごとのCOMPASSだよりや公式Webサイトのブログ・SNSにて活動の様子を、毎月の事業所だよりでは、療育の様子などを写真とともにお伝えしております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付の書庫にて厳重に保管しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		それぞれの特性に応じて、口頭だけでなく書面を提示するなど手段を活用して情報伝達に配慮しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		今年度は実施しておりません。	保護者様のご意向をうかがったうえで、地域への開わりを検討してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各マニュアルを策定するとともに事業所内に提示して保護者様にご案内させていただき、定期的な訓練も実施しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		業務継続計画（BCP）を策定し事業所内に提示するとともに、非常災害の発生に備えた定期的な訓練をおこなっております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	6		契約時に保護者様から服薬や発作時の対応などについて詳細をうかがい、情報の変化についても、標準化されたアセスメントツールを使用し把握するように努めております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		契約時には保護者様から丁寧に聞き取りをおこない、職員間での情報共有に努めてまいります。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		事業継続計画とともに安全計画を作成し、安全管理に取り組み支援をおこなっております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、保護者等へ周知しているか。	6		安全計画に基づいた取組の内容については事業所内に提示するとともに、保護者様に伝えしております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		事業所内外で発生した事例を記録し、定期的な振り返りをおこなうことで情報共有をおこない、再発防止に努めております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		事業所内にて定期的にマニュアルに沿った職員研修をおこない、適切な対応が保たれるよう努めてまいります。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		「COMPASSグループ」身体拘束等の適正化のために指針に基づき、児童や保護者様に事前に十分に説明し同意を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。